

各〔都道府県知事
保健所設置市長
特別区長〕 殿

厚生労働省健康局長

水質基準に関する省令の一部改正等について（施行通知）

今般、「水質基準に関する省令の一部を改正する省令」（平成20年厚生労働省令第174号）、及び「水道法施行規則の一部を改正する省令」（平成20年厚生労働省令第175号）が平成20年12月22日に、また、「水道施設の技術的基準を定める省令の一部を改正する省令」（平成21年厚生労働省令第26号）及び「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の一部を改正する省令」（平成21年厚生労働省令第27号）が平成21年3月6日に公布され、平成21年4月1日から施行されることとなった。これらの改正と併せて、「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法の一部を改正する件」（平成21年厚生労働省告示第56号）、「資機材等の材質に関する試験の一部を改正する件」（平成21年厚生労働省告示第57号）及び「給水装置の構造及び材質の基準に係る試験の一部を改正する件」（平成21年厚生労働省告示第58号）が公布されたほか、水質基準を補完する項目として定めている水質管理目標設定項目の一部を改正することとしたので、下記について御了知の上、貴管下水道事業者等に対する周知指導につき特段の御配慮をお願いしたい。

記

第1 改正の概要

内閣府食品安全委員会における食品健康影響評価及び厚生労働科学研究の結果等を踏まえ、有機物（全有機炭素(TOC)の量）（以下「TOC」という。）等に係る水質基準を改正することとし、水質基準に関する省令（平成15年厚生労働省令第101号。以下「基準省令」という。）及び水道法施行規則（昭和32年厚生省令第45号）の一部を改正するとともに、水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年厚生省令第15号）及び給水装置の構造及び材質の基準に関する省令（平成9年厚生省令第14号）について所要の改正を行ったものであること。

また、水質基準等の改正のほか、水質検査技術に係る新たな知見や情報等を踏まえ、水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法（平成15年厚生労働省告示第261号。以下「検査方法告示」という。）の一部を改正するとともに、資機材等の材質に関する試験（平成12年厚生省告示第45号）及び給水装置の構造及び材質の基準に係る試験（平成9年厚生省告示第111号）についても、検査方法告示との整合を図り所要の改正を行ったものであること。

さらに、本職通知「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」（平成15年10月10日付け健発第1010004号。以下「15年局長通知」という。）別添1に定めた水質管理目標設定項目についても、食品安全委員会における食品健康影響評価及

び厚生労働科学研究の結果等を踏まえ、アルミニウム及びその化合物（以下「アルミニウム」という。）の追加等を行うとともに、別添2に定めた農薬類（水質管理目標設定項目15）の対象農薬リスト中の目標値の見直しを行ったものであること。

第2 基準省令の一部改正等について

1 基準項目及び基準値

基準省令の表について、

- ① 1,1-ジクロロエチレンに係る水質基準を廃止し、
- ② シス-1,2-ジクロロエチレンに係る水質基準をシス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンに変更し、基準値を0.04mg/L以下とし、
- ③ TOCに係る基準値を3mg/L以下に強化する

改正を行ったものであること。

2 検査方法

検査方法告示の別表第14及び第15について、対象項目から1,1-ジクロロエチレンを削り、トランス-1,2-ジクロロエチレンを加える改正を行ったものであること。

また、別表第6、第7及び第17について、より効率的な検査の実施が可能となるよう所要の改正を行ったものであること。

第3 水道法施行規則の一部改正について

同規則第15条（定期及び臨時の水質検査）の一部について、基準省令の一部改正に伴う所要の改正を行ったものであること。なお、シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンに係る水質検査の頻度等は、従前シス-1,2-ジクロロエチレンについて規定されていたとおりとしたこと。

第4 水道施設の技術的基準を定める省令等の一部改正について

1 水道施設の技術的基準を定める省令の一部改正

同省令別表第1に定める薬品基準について、

- ① 1,1-ジクロロエチレンに係る基準を廃止し、
- ② シス-1,2-ジクロロエチレンに係る基準をシス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンに変更し、基準値を0.004mg/L以下とし、
- ③ TOCに係る基準値を0.3mg/L以下に強化する

改正を行ったものであること。

また、同省令別表第2に定める資機材材質基準について、

- ① 1,1-ジクロロエチレンに係る基準を廃止し、
- ② シス-1,2-ジクロロエチレンに係る基準をシス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンに変更し、基準値を0.004mg/L以下とする

改正を行ったものであること。なお、TOCに係る資機材材質基準については、現行の0.5mg/L以下を維持することとしたこと。

2 資機材等の材質に関する試験の一部改正

同告示1（2）の浸出用液の調製方法について、カルシウム、マグネシウム等（硬度）に係る水質の確認方法に誘導結合プラズマ質量分析法（ICP-MS法）を加え、3の分析方法の表中、

- ① 1,1-ジクロロエチレンの項を削り、
- ② シス-1,2-ジクロロエチレンをシス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンに改め、
- ③ ナトリウム及びその化合物に係る分析方法にICP-MS法を加える

改正を行ったものであること。

第5 給水装置の構造及び材質の基準に関する省令等の一部改正について

1 給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の一部改正

同省令別表第1に定める給水装置浸出性能基準について、

- ① 1,1-ジクロロエチレンに係る基準を廃止し、
- ② シス-1,2-ジクロロエチレンに係る基準をシス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンに変更し、水栓その他給水装置の末端に設置されている給水用具の浸出液に係る基準値を0.004mg/L以下、給水装置の末端以外に設置されている給水用具の浸出液又は給水管の浸出液に係る基準値を0.04mg/L以下とし、
- ③ TOCに係る給水装置の末端以外に設置されている給水用具の浸出液又は給水管の浸出液に係る基準を3mg/L以下に強化する

改正を行ったものであること。なお、TOCに係る水栓その他給水装置の末端に設置されている給水用具の浸出液に係る給水装置浸出性能基準については、現行の0.5mg/L以下を維持することとしたこと。

2 給水装置の構造及び材質の基準に係る試験の一部改正

同告示第2の1(2)の浸出用液の調製方法について、カルシウム、マグネシウム等(硬度)に係る水質の確認方法に誘導結合プラズマ質量分析法(ICP-MS法)を加え、第2の3の分析方法の表中、

- ① 1,1-ジクロロエチレンの項を削り、
- ② シス-1,2-ジクロロエチレンをシス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンに改め、
- ③ ナトリウム及びその化合物に係る分析方法にICP-MS法を加える

改正を行ったものであること。

第6 水質管理目標設定項目の一部改正について

15年局長通知別添1及び別添2を別紙新旧対照表のとおり改正し、平成21年4月1日より適用すること。

第7 留意事項

改正後の基準省令等は、平成21年4月1日より施行されるので、それまでに水質検査の実施体制の整備等につき必要な措置を講じられたいこと。

別紙

「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」(平成15年10月10日付健発1010004号)

別添1 水質管理目標設定項目 新旧対照表

改正後(新)				改正前(旧)			
別添1 水質管理目標設定項目				別添1 水質管理目標設定項目			
項	目	目 標 値	検 査 方 法	項	目	目 標 値	検 査 方 法
1	アンチモン及びその化合物	アンチモンの量に関して、0.015mg/L以下	水素化物発生-原子吸光度法、水素化物発生-ICP法、ICP-MS法	1	アンチモン及びその化合物	アンチモンの量に関して、0.015mg/L以下	水素化物発生-原子吸光度法、水素化物発生-ICP法、ICP-MS法
2	ウラン及びその化合物	ウランの量に関して、0.002mg/L以下(暫定)	ICP-MS法、固相抽出-ICP法	2	ウラン及びその化合物	ウランの量に関して、0.002mg/L以下(暫定)	ICP-MS法、固相抽出-ICP法
3	ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して、0.01mg/L(暫定)	フレイムレス-原子吸光度法、ICP法、ICP-MS法	3	ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して、0.01mg/L(暫定)	フレイムレス-原子吸光度法、ICP法、ICP-MS法
4	亜硝酸態窒素	0.05mg/L以下(暫定)	イオンクロマトグラフ法	4	亜硝酸態窒素	0.05mg/L以下(暫定)	イオンクロマトグラフ法
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法	5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
6	削除	削除	削除	6	トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
7	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法	7	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
8	トルエン	0.2mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法	8	トルエン	0.2mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.1mg/L以下	溶媒抽出-GC-MS法	9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.1mg/L以下	溶媒抽出-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.6mg/L以下	イオンクロマトグラフ法、イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法	10	亜塩素酸	0.6mg/L以下	イオンクロマトグラフ法、イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法
11	削除	削除	削除	11	削除	削除	削除
12	二酸化塩素	0.6mg/L以下	イオンクロマトグラフ法、イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法	12	二酸化塩素	0.6mg/L以下	イオンクロマトグラフ法、イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光度法
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法	13	ジクロロアセトニトリル	0.04mg/L以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
14	抱水クロラール	0.02mg/L以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法	14	抱水クロラール	0.03mg/L以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
15	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	農薬ごとに定められた方法による	15	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	農薬ごとに定められた方法による
16	残留塩素	1mg/L以下	ジエチル-p-フェニレンジアミン法、電流法、吸光度法、連続自動測定機器による吸光度法、ポーラログラフ法	16	残留塩素	1mg/L以下	ジエチル-p-フェニレンジアミン法、電流法、吸光度法、連続自動測定機器による吸光度法、ポーラログラフ法

17	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	10mg/L以上 100mg/L以下	フレイム-原子吸光光度法、ICP法、イオンクロマトグラフ法、滴定法
18	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.01mg/L以下	フレイムレス-原子吸光光度法、ICP法、ICP-MS法
19	遊離炭酸	20mg/L以下	滴定法
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
21	メチル- <i>t</i> -ブチルエーテル	0.02mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
22	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	3mg/L以下	滴定法
23	臭気強度（TON）	3以下	官能法
24	蒸発残留物	30mg/L以上 200mg/L以下	重量法
25	濁度	1度以下	比濁法、透過光測定法、連続自動測定機器による透過光測定法、積分球式光電光度法、連続自動測定機器による積分球式光電光度法、散乱光測定法、透過散乱法
26	pH値	7.5程度	ガラス電極法、連続自動測定機器によるガラス電極法
27	腐食性（ランゲリア指数）	-1程度以上とし、極力0に近づける	計算法
28	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集落数が2,000以下（暫定）	R2A寒天培地法
29	<u>1,1-ジクロロエチレン</u>	<u>0.1mg/L以下</u>	<u>PT-GC-MS法、HS-GC-MS法</u>
30	<u>アルミニウム及びその化合物</u>	<u>アルミニウムの量に関して、0.1mg/L以下</u>	<u>フレイムレス-原子吸光光度法、ICP法、ICP-MS法</u>

17	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	10mg/L以上 100mg/L以下	フレイム-原子吸光光度法、ICP法、イオンクロマトグラフ法、滴定法
18	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.01mg/L以下	フレイムレス-原子吸光光度法、ICP法、ICP-MS法
19	遊離炭酸	20mg/L以下	滴定法
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
21	メチル- <i>t</i> -ブチルエーテル	0.02mg/L以下	PT-GC-MS法、HS-GC-MS法
22	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	3mg/L以下	滴定法
23	臭気強度（TON）	3以下	官能法
24	蒸発残留物	30mg/L以上 200mg/L以下	重量法
25	濁度	1度以下	比濁法、透過光測定法、連続自動測定機器による透過光測定法、積分球式光電光度法、連続自動測定機器による積分球式光電光度法、散乱光測定法、透過散乱法
26	pH値	7.5程度	ガラス電極法、連続自動測定機器によるガラス電極法
27	腐食性（ランゲリア指数）	-1程度以上とし、極力0に近づける	計算法
28	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集落数が2,000以下（暫定）	R2A寒天培地法

別添2 農薬類（水質管理目標設定項目15）の対象農薬リスト 新旧対照表

改正後（新）					改正前（旧）				
別添2 農薬類（水質管理目標設定項目15）の対象農薬リスト					別添2 農薬類（水質管理目標設定項目15）の対象農薬リスト				
番号	農薬名	用途	目標値 (mg/L)	検査方法	番号	農薬名	用途	目標値 (mg/L)	検査方法
1	チウラム	殺菌剤	0.02	固相抽出－LC－MS法(ポジティブモード)	1	チウラム	殺菌剤	0.02	固相抽出－LC－MS法(ポジティブモード)
2	シマジン(CAT)	除草剤	0.003	固相抽出－GC－MS法	2	シマジン(CAT)	除草剤	0.003	固相抽出－GC－MS法
3	チオベンカルブ	除草剤	0.02	固相抽出－GC－MS法	3	チオベンカルブ	除草剤	0.02	固相抽出－GC－MS法
4	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	土壌薰蒸	0.002	PT－GC－MS法、HS－GC－MS法	4	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	土壌薰蒸	0.002	PT－GC－MS法、HS－GC－MS法
5	イソキサチオン	殺虫剤	0.008	固相抽出－GC－MS法	5	イソキサチオン	殺虫剤	0.008	固相抽出－GC－MS法
6	ダイアジノン	殺虫剤	0.005	固相抽出－GC－MS法	6	ダイアジノン	殺虫剤	0.005	固相抽出－GC－MS法
7	フェニトロチオン(MEP)	殺虫剤	0.003	固相抽出－GC－MS法	7	フェニトロチオン(MEP)	殺虫剤	0.003	固相抽出－GC－MS法
8	イソプロチオラン(IPT)	殺菌剤 殺虫剤	0.04	固相抽出－GC－MS法	8	イソプロチオラン(IPT)	殺菌剤 殺虫剤	0.04	固相抽出－GC－MS法
9	クロタロニル(TPN)	殺菌剤	0.05	固相抽出－GC－MS法	9	クロタロニル(TPN)	殺菌剤	0.05	固相抽出－GC－MS法
10	プロピザミド	除草剤	0.05	固相抽出－GC－MS法	10	プロピザミド	除草剤	0.05	固相抽出－GC－MS法
11	ジクロルボス(DDVP)	殺虫剤	0.008	固相抽出－GC－MS法	11	ジクロルボス(DDVP)	殺虫剤	0.008	固相抽出－GC－MS法
12	フェノブカルブ(BPMC)	殺虫剤	0.03	固相抽出－GC－MS法	12	フェノブカルブ(BPMC)	殺虫剤	0.03	固相抽出－GC－MS法
13	クロルニトロフェン(CNP) 注1) 注2)	除草剤	0.0001	固相抽出－GC－MS法	13	クロルニトロフェン(CNP) 注1) 注2)	除草剤	0.0001	固相抽出－GC－MS法
14	CNP-アミノ体	—	—	固相抽出－GC－MS法	14	CNP-アミノ体	—	—	固相抽出－GC－MS法
15	イプロベンホス(IBP)	殺菌剤	0.008	固相抽出－GC－MS法	15	イプロベンホス(IBP)	殺菌剤	0.008	固相抽出－GC－MS法
16	EPN	殺虫剤	<u>0.004</u>	固相抽出－GC－MS法	16	EPN	殺虫剤	<u>0.006</u>	固相抽出－GC－MS法

17	ベンタゾン 注2)	除草剤	0.2	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	17	ベンタゾン 注2)	除草剤	0.2	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
18	カルボフラン(カルボスルファン代謝物)	殺虫剤	0.005	HPLC-ポストカラム法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)	18	カルボフラン(カルボスルファン代謝物)	殺虫剤	0.005	HPLC-ポストカラム法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
19	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D)	除草剤	0.03	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	19	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D)	除草剤	0.03	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
20	トリクロピル	除草剤	0.006	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	20	トリクロピル	除草剤	0.006	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
21	アセフェート	殺虫剤	0.08	LC-MS法(ポジティブモード)	21	アセフェート	殺虫剤	0.08	LC-MS法(ポジティブモード)
22	イソフェンホス 注2)	殺虫剤	0.001	固相抽出-GC-MS法	22	イソフェンホス 注2)	殺虫剤	0.001	固相抽出-GC-MS法
23	クロルピリホス	殺虫剤	0.003	固相抽出-GC-MS法	23	クロルピリホス	殺虫剤	0.003	固相抽出-GC-MS法
24	トリクロルホン(DEP)	殺虫剤	0.03	固相抽出-GC-MS法	24	トリクロルホン(DEP)	殺虫剤	0.03	固相抽出-GC-MS法
25	ピリダフェンチオン 注2)	殺虫剤	0.002	固相抽出-GC-MS法	25	ピリダフェンチオン 注2)	殺虫剤	0.002	固相抽出-GC-MS法
26	イプロジオン	殺菌剤	0.3	固相抽出-GC-MS法、固相抽出-HPLC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)	26	イプロジオン	殺菌剤	0.3	固相抽出-GC-MS法、固相抽出-HPLC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
27	エトリジアゾール(エクロメゾール)	殺菌剤	0.004	固相抽出-GC-MS法	27	エトリジアゾール(エクロメゾール)	殺菌剤	0.004	固相抽出-GC-MS法
28	オキシシン銅	殺菌剤	0.04	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、LC-MS法(ポジティブモード)	28	オキシシン銅	殺菌剤	0.04	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、LC-MS法(ポジティブモード)

番号	農 薬 名	用途	目標値 (mg/L)	検 査 方 法	番号	農 薬 名	用途	目標値 (mg/L)	検 査 方 法
29	キャプタン	殺菌剤	0.3	固相抽出-GC-MS法	29	キャプタン	殺菌剤	0.3	固相抽出-GC-MS法
30	クロロネブ	殺菌剤	0.05	固相抽出-GC-MS法	30	クロロネブ	殺菌剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
31	トルクロホスメチル	殺菌剤	0.2	固相抽出-GC-MS法	31	トルクロホスメチル	殺菌剤	0.2	固相抽出-GC-MS法
32	フルトラニル	殺菌剤	0.2	固相抽出-GC-MS法	32	フルトラニル	殺菌剤	0.2	固相抽出-GC-MS法
33	ペンシクロン	殺菌剤	0.04	固相抽出-GC-MS法	33	ペンシクロン	殺菌剤	0.04	固相抽出-GC-MS法
34	メタラキシル	殺菌剤	0.05	固相抽出-GC-MS法	34	メタラキシル	殺菌剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
35	メプロニル	殺菌剤	0.1	固相抽出-GC-MS法	35	メプロニル	殺菌剤	0.1	固相抽出-GC-MS法
36	アシュラム	除草剤	0.2	固相抽出-HPLC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	36	アシュラム	除草剤	0.2	固相抽出-HPLC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
37	ジチオピル	除草剤	0.008	固相抽出-GC-MS法	37	ジチオピル	除草剤	0.008	固相抽出-GC-MS法
38	テルブカルブ(MBPMC注2)	除草剤	0.02	固相抽出-GC-MS法	38	テルブカルブ(MBPMC注2)	除草剤	0.02	固相抽出-GC-MS法
39	ナプロパミド	除草剤	0.03	固相抽出-GC-MS法	39	ナプロパミド	除草剤	0.03	固相抽出-GC-MS法
40	ピリブチカルブ	除草剤	0.02	固相抽出-GC-MS法	40	ピリブチカルブ	除草剤	0.02	固相抽出-GC-MS法
41	ブタミホス	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法	41	ブタミホス	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
42	ベンスリド(SAP)注2)	除草剤	0.1	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	42	ベンスリド(SAP)注2)	除草剤	0.1	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
43	ベンフルラリン(バスロジン)	除草剤	0.08	固相抽出-GC-MS法	43	ベンフルラリン(バスロジン)	除草剤	0.08	固相抽出-GC-MS法
44	ペンディメタリン	除草剤	0.1	固相抽出-GC-MS法	44	ペンディメタリン	除草剤	0.1	固相抽出-GC-MS法
45	メコプロップ(MCPP)	除草剤	0.005	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	45	メコプロップ(MCPP)	除草剤	0.005	固相抽出-誘導体化-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
46	メチルダイムロン注2)	除草剤	0.03	固相抽出-GC-MS法	46	メチルダイムロン注2)	除草剤	0.03	固相抽出-GC-MS法

47	アラクロール	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法	47	アラクロール	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
48	カルバリル(NAC)	殺虫剤	0.05	固相抽出-HPLC法、HPLC-ポストカラム法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)	48	カルバリル(NAC)	殺虫剤	0.05	固相抽出-HPLC法、HPLC-ポストカラム法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
49	エディフェンホス(エジフェンホス, EDDP)	殺菌剤	0.006	固相抽出-GC-MS法	49	エディフェンホス(エジフェンホス, EDDP)	殺菌剤	0.006	固相抽出-GC-MS法
50	ピロキロン	殺菌剤	0.04	固相抽出-GC-MS法	50	ピロキロン	殺菌剤	0.04	固相抽出-GC-MS法
51	フサライド	殺菌剤	0.1	固相抽出-GC-MS法	51	フサライド	殺菌剤	0.1	固相抽出-GC-MS法
52	メフェナセット	除草剤	0.009	固相抽出-GC-MS法	52	メフェナセット	除草剤	0.009	固相抽出-GC-MS法
53	プレチラクロール	除草剤	0.04	固相抽出-GC-MS法	53	プレチラクロール	除草剤	0.04	固相抽出-GC-MS法
54	イソプロカルブ(MIPC)	殺虫剤	0.01	固相抽出-GC-MS法	54	イソプロカルブ(MIPC)	殺虫剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
55	チオファネートメチル	殺菌剤	0.3	固相抽出-HPLC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)	55	チオファネートメチル	殺菌剤	0.3	固相抽出-HPLC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
56	テニルクロール	除草剤	0.2	固相抽出-GC-MS法	56	テニルクロール	除草剤	0.2	固相抽出-GC-MS法
57	メチダチオン(DMTP)	殺虫剤	0.004	固相抽出-GC-MS法	57	メチダチオン(DMTP)	殺虫剤	0.004	固相抽出-GC-MS法
58	カルプロパミド	殺菌剤	0.04	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	58	カルプロパミド	殺菌剤	0.04	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
59	プロモブチド	除草剤	0.04	固相抽出-GC-MS法	59	プロモブチド	除草剤	0.04	固相抽出-GC-MS法
60	モリネート	除草剤	0.005	固相抽出-GC-MS法	60	モリネート	除草剤	0.005	固相抽出-GC-MS法

番号	農 薬 名	用途	目標値 (mg/L)	検 査 方 法
61	プロシミドン	殺菌剤	0.09	固相抽出-GC-MS法
62	アニロホス	除草剤	0.003	固相抽出-GC-MS法
63	アトラジン	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
64	ダラポン	除草剤	0.08	LC-MS法(ネガティブモード)
65	ジクロベニル(DBN)	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
66	ジメトエート	殺虫剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
67	ジクワット	除草剤	0.005	固相抽出-HPLC法
68	ジウロン(DCMU)	除草剤	0.02	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
69	エンドスルファン(ベンゾエピン)	殺虫剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
70	エトフェンプロックス	殺虫剤	0.08	固相抽出-GC-MS法
71	フェンチオン(MPP)	殺虫剤	0.001	固相抽出-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
72	グリホサート	除草剤	2	誘導体化-HPLC法、HPLC-ポストカラム法
73	マラソン(マラチオン)	殺虫剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
74	メソミル	殺虫剤	0.03	HPLC-ポストカラム法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
75	ベノミル	殺菌剤	0.02	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
76	ベンフラカルブ	殺虫剤	0.04	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
77	シメトリン	除草剤	0.03	固相抽出-GC-MS法

番号	農 薬 名	用途	目標値 (mg/L)	検 査 方 法
61	プロシミドン	殺菌剤	0.09	固相抽出-GC-MS法
62	アニロホス	除草剤	0.003	固相抽出-GC-MS法
63	アトラジン	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
64	ダラポン	除草剤	0.08	LC-MS法(ネガティブモード)
65	ジクロベニル(DBN)	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
66	ジメトエート	殺虫剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
67	ジクワット	除草剤	0.005	固相抽出-HPLC法
68	ジウロン(DCMU)	除草剤	0.02	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
69	エンドスルファン(ベンゾエピン)	殺虫剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
70	エトフェンプロックス	殺虫剤	0.08	固相抽出-GC-MS法
71	フェンチオン(MPP)	殺虫剤	0.001	固相抽出-GC-MS法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
72	グリホサート	除草剤	2	誘導体化-HPLC法、HPLC-ポストカラム法
73	マラソン(マラチオン)	殺虫剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
74	メソミル	殺虫剤	0.03	HPLC-ポストカラム法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
75	ベノミル	殺菌剤	0.02	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
76	ベンフラカルブ	殺虫剤	0.04	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
77	シメトリン	除草剤	0.03	固相抽出-GC-MS法

78	ジメピペレート 注2)	除草剤	0.003	固相抽出-GC-MS法	78	ジメピペレート 注2)	除草剤	0.003	固相抽出-GC-MS法
79	フェントエート(PAP)	殺虫剤	0.004	固相抽出-GC-MS法	79	フェントエート(PAP)	殺虫剤	0.004	固相抽出-GC-MS法
80	ブプロフェジン	殺虫剤	0.02	固相抽出-GC-MS法	80	ブプロフェジン	殺虫剤	0.02	固相抽出-GC-MS法
81	エチルチオメトン	殺虫剤	0.004	固相抽出-GC-MS法	81	エチルチオメトン	殺虫剤	0.004	固相抽出-GC-MS法
82	プロベナゾール	殺菌剤	0.05	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)	82	プロベナゾール	殺菌剤	0.05	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
83	エスプロカルブ	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法	83	エスプロカルブ	除草剤	0.01	固相抽出-GC-MS法
84	ダイムロン	除草剤	0.8	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	84	ダイムロン	除草剤	0.8	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
85	ビフェノックス 注2)	除草剤	0.2	固相抽出-GC-MS法	85	ビフェノックス 注2)	除草剤	0.2	固相抽出-GC-MS法
86	ベンスルフロンメチル	除草剤	0.4	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)	86	ベンスルフロンメチル	除草剤	0.4	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
87	トリシクラゾール	殺菌剤	0.08	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)	87	トリシクラゾール	殺菌剤	0.08	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
88	ピペロホス 注2)	除草剤	0.0009	固相抽出-GC-MS法	88	ピペロホス 注2)	除草剤	0.0009	固相抽出-GC-MS法
89	ジメタメトリン	除草剤	0.02	固相抽出-GC-MS法	89	ジメタメトリン	除草剤	0.02	固相抽出-GC-MS法
90	アゾキシストロビン	殺菌剤	0.5	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)	90	アゾキシストロビン	殺菌剤	0.5	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)

番号	農薬名	用途	目標値 (mg/L)	検査方法
91	イミノクタジン酢酸塩	殺菌剤	0.006	固相抽出-HP LC-ポストカラム法、溶媒抽出-HP LC-ポストカラム法
92	ホセチル	殺菌剤	2	LC-MS法(ネガティブモード)
93	ポリカーバメート	殺菌剤	0.03	誘導体化-HP LC法
94	ハロスルフロンメチル	除草剤	0.3	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
95	フラザスルフロン	除草剤	0.03	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
96	チオジカルブ	殺虫剤	0.08	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
97	プロピコナゾール	殺菌剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
98	シデュロン	除草剤	0.3	固相抽出-HP LC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
99	ピリプロキシフェン	殺虫剤	0.2	固相抽出-GC-MS法
100	トリフルラリン	除草剤	0.06	固相抽出-GC-MS法
101	カフェンストロール	除草剤	0.008	固相抽出-GC-MS法
102	フィプロニル	殺虫剤	0.0005	固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)

注1) クロロニトロフェン(CNP)の濃度については、CNP-アミノ体の濃度と合計して算出すること。

注2) クロロニトロフェン(CNP)、ベンタゾン、イソフェンホス、ピリダフェンチオン、テルブカルブ(MBPMC)、ベンスリド(SAP)、メチルダイムロン、ジメピペレート、ピフェノックス及びピペロホスは失効農薬である。

番号	農薬名	用途	目標値 (mg/L)	検査方法
91	イミノクタジン酢酸塩	殺菌剤	0.006	固相抽出-HP LC-ポストカラム法、溶媒抽出-HP LC-ポストカラム法
92	ホセチル	殺菌剤	2	LC-MS法(ネガティブモード)
93	ポリカーバメート	殺菌剤	0.03	誘導体化-HP LC法
94	ハロスルフロンメチル	除草剤	0.3	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
95	フラザスルフロン	除草剤	0.03	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
96	チオジカルブ	殺虫剤	0.08	固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)
97	プロピコナゾール	殺菌剤	0.05	固相抽出-GC-MS法
98	シデュロン	除草剤	0.3	固相抽出-HP LC法、固相抽出-LC-MS法(ポジティブモード)、固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)
99	ピリプロキシフェン	殺虫剤	0.2	固相抽出-GC-MS法
100	トリフルラリン	除草剤	0.06	固相抽出-GC-MS法
101	カフェンストロール	除草剤	0.008	固相抽出-GC-MS法
102	フィプロニル	殺虫剤	0.0005	固相抽出-LC-MS法(ネガティブモード)

注1) クロロニトロフェン(CNP)の濃度については、CNP-アミノ体の濃度と合計して算出すること。

注2) クロロニトロフェン(CNP)、ベンタゾン、イソフェンホス、ピリダフェンチオン、テルブカルブ(MBPMC)、ベンスリド(SAP)、メチルダイムロン、ジメピペレート、ピフェノックス及びピペロホスは失効農薬である。